

はこまち通信

コーポラ



2019.4

vol. **48**

『いぶり基金』への募金
ありがとうございました
(詳細はP8)



お知らせ

第15回NPOまつりは
7月28日(日)開催です

今年は第15回！節目の年です

- 本年も7月にNPOまつりを開催いたします。市民活動団体のみなさん、NPOまつりに参加して、自分たちの活動を多くの方に知ってもらいましょう。ほかの団体のみなさんとも交流を深めてもらえればうれしいです。年に一度のおまつりをみんなで盛り上げてまいりましょう！
- 「何か新しいことをはじめたい」という方も、この機会にぜひご来場ください。「仲間がほしい」「地域の役に立ちたい」「自分の好きなこと、興味あることでまちを盛り上げたい」「でも、何をどうすればよいのか分からない」そんな方にピッタリのイベントです(NPOまつりの詳細は次号vol.49でお知らせしていきます)。

Contents

特集

この1年を振り返る …P2

市民活動団体のご紹介

千螢社 (せんけいしゃ)

市民活動団体のみなさんへ …P4

スタッフ連載ページ

『上へまいりま～す!』 …P5

移住サポートセンターからのお知らせ
配布先・問い合わせ先 …P6

センター長 丸藤の

『今 伝えたいこと』 …P7

インフォメーション

…P8



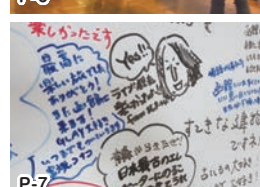
**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**
世界を変えるための17の目標



特集 この1年を振り返る

2018年4月から2019年3月まで、まちづくりセンターでの主な出来事を振り返りながらご紹介します。

4/1	「古着回収ボックス」設置（函館市環境部）	P-1
4/15	『水曜？マルシェスペシャル2018』開催	
4/24	『ラブライブ！サンシャイン!!』函館ロケ地マップ配布 多くのファン（ラブライバー）が来館	P-2
6/8～10	第12回路面電車まつり開催	
6/24	移住タウンミーティング2018開催	
7/25	「函館湾岸コンクリート物語カード」配布開始 （2019年6月まで毎月1日配布）	P-3
7/29	第14回NPOまつり開催 過去最高の85団体が参加 （同時開催／夏休み工作フェスティバル）	P-4
8/2	『GLAY Walker 2018 函館』が発売。 GLAYメンバーがまちづくりセンターの正面玄関、階段、 旧エレベーター等で撮影したことから、GLAYファンが多数来館	P-5 P-6 P-7
9/6～7	地震停電に伴う臨時休館	
9/8～継続中	いぶり基金への募金箱を設置、累計111,254円を送金 ご協力くださった方にはポストカードを進呈中（協力：函館山花しるべな会 藤村様）	P-8
10/11～12/25	防災企画『防災と備蓄を考える展示会』を実施	P-9 P-10
11/6～7	『NPOの組織基盤強化を本気で考える2日間!!』 『NPO事務力検定』実施 スタッフも受験・受講	P-11
11/13	除雪機1台導入	P-12
11/15～30	緊急防災企画『さわってナットク!ダンボールグッズ』の展示	P-13
12/1～25	カナダのハリファックス市から届いたクリスマスツリーを設置 もみの葉しおりづくりの無料体験を実施 スタンプラリー初開催（チームもみの木）	
12/2	『クリスマスコンサート2018』開催	
12/28	広報誌『はこまち通信クーポラ』及びWeb版をリニューアル	
3/11	東日本大震災慰霊・献花台を設置	
3/18	冬の地震発生を想定した避難訓練を実施	
3/31	『日曜なのに!?水曜マルシェ・スペシャル2019』を開催	



Hakodate Community



Design Center vol.48 2019年4月

- ❁『マンホールカード』のブーム到来 P-1
- ❁クルーズ船の函館入港が過去最大に
大勢の外国人観光客が来館
- ❁まちセン茶論12回、番外編2回開催
- ❁救命講習会(2017年10月開始)
累計受講者数292名(※3月2日現在) P-2 P-3
- ❁水曜マルシェ 毎週水曜日開催(2010年より継続中) P-4
- ❁レンタサイクル『はこりん♪』2018年度は4/14~11/25実施 P-5
- ❁2018年度の視察件数22件 P-6
- ❁チラシ大賞2018決定
- ❁フォトブース開設(2019年1月) P-7



2018年度、 特に来館者数や問い合わせが多かった 催事・イベントをご紹介します。



- 3~5月 ハコダテだらせんプロジェクト P-8
- 4月・9月 函館西部地区バル街
- 4~11月 函館ぶら探訪 P-9
- 5月 光のもとで 函館・トラピスチヌ修道院 巡回写真展
- 5月 宮竹眞澄・心のふる里人形展
- 5月 北海道建築展巡回展2018
- 5月・10月 NPO"箱館写真"の会写真展
- 6月 のまサルーテ! P-10
- 6月・9月・12月・3月 骨董市
- 7月 駆逐艦「橘」のパネル展
- 7月 西日本豪雨災害復興支援コンサート P-11
- 7月 函館生涯学習フェア
- 9月 はこだて工芸まつり2018
- 10月 『火の刺繍』ヲ語ル 詩人 吉増剛造の旅
- 10月 はこだて陶芸『土』の会 陶芸展
- 11月 十字街商盛会秋まつり P-12
- 11月 世界に一冊だけの本・展
- 11月 北洋漁業ゆかりの地紀行講演会
- 12月 函館白百合学園中学高等学校カレンダー市 P-13
- 12月 星野勲 写真展『黄金の大地に』
- 1月 かとうまふみ講演会
- 2月 講演会『棒二森屋物語』
- 2~3月 第16回日本のKOUGEI『能登の工芸展』

【新年度に向けて】

まちづくりセンターの建物は、1923(大正12)年から1969(昭和44)年まで百貨店、1970(昭和45)年から2002(平成14)年まで函館市役所分庁舎として使用されてきました。西部地区の賑わいと潤いを創出するべく、2007年4月、まちづくりセンターとしてオープン。13年目となる2019年は、1934(昭和9)年の函館大火から85年、丸井今井函館店が本町に移転して50年という節目の年でもあります。

これからもみなさまにとって「自分の部屋の次に居心地の良い」場所であり続けますので、お気軽に声をかけてください。

❁センター長／丸藤 ❁副センター長／大矢・水戸部

❁常勤スタッフ／榎本・谷口・荃沢・茅森・櫻田 ❁非常勤スタッフ／横内・澤田石・中川・遠藤



～ポップコーンのヒットを就労の励みに～

特定非営利活動法人 千蛸社

当センターは精神・知的・身体障がい者の『就労』をサポートする役割を担っています。主な活動は木工・手芸・お惣菜の製造販売ですが、昨年8月よりポップコーンの製造販売をはじめましたところたいへん好評で、新聞等でも大きく取り上げられました。

ポップコーンは当センターのほか、函館市役所売店など計16ヶ所にてお買い求めいただけます。見かけたらぜひお手にとってみてください。実演販売も可能ですので、イベントなどの際はお気軽にお問い合わせください。



ポップコーンの販路拡大に伴い、地域の理解も深まっております。

●特定非営利活動法人 千蛸社(せんけいしゃ)

理事長／斉藤 佐知子 所長／高橋 悦子 会員数／20名

連絡先／函館市美原1-29-20

電話／0138-45-2040

メール／senkei@msb.ncv.ne.jp

団体設立のきっかけや
活動内容などの詳細は
まちセンHPで



<http://hakomachi.com>



市民活動団体のみなさんへ

このコーナーでは市民活動団体のみなさんに
役立つ情報をお知らせしてまいります



3階印刷室をご利用ください

■印刷機使用料金 (※用紙代別)

①製版代／1枚 100円

②印刷枚数／10枚まで10円

(以後10枚ごとに10円加算となります)

※①製版代+②印刷枚数の代金が必要です。
印刷用紙と小銭のご用意をお願いします。

■コピー料金

①白黒／A4・B4・A3 1枚 10円

②カラー／A4・B4 1枚 50円

③カラー／A3 1枚 100円



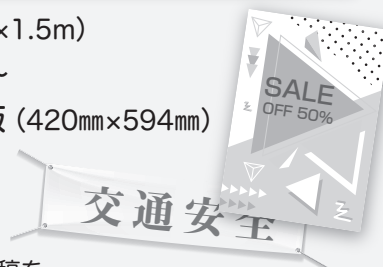
横断幕・ポスタープリント承ります

■横断幕 (610mm×1.5m)

1枚 2,400円～

■ポスターA2版 (420mm×594mm)

1枚1,200円～



※横断幕は文字原稿を、
ポスター等はPDFデータ形式にてお持ちください。
※お引渡しまで5日程度の日数をいただいております。
※詳しくはお問合わせください。



●最終回は、この1年で私が学んだことの中から『研修』をテーマにお伝えします。

この冬は釧路・東京で行われた『防災講座』に参加しました。昨年9月の北海道胆振東部地震以来、「まちセンスタッフの私にできることは何だろう」と考え、試行錯誤を続けてきただけに、学んだことひとつひとつが胸に響きました。なかでも強く印象に残ったことをご紹介します。

【1】共に考え、悩み、完全に理解することはできなくても、常に『理解する姿勢』をもって被災者と接すること。

【2】被災者の心に寄り添うことは大切ですが、地元に戻った時には『自身のこころのケア』を行うこと。

【3】活動中に気づいたことは、一度手を止めてまわりの人にも伝えること。例えば表面上は見えにくい課題や個人の想い、自分とは異なる価値観の違いなど。

【4】行政・社会福祉協議会・ボランティア・当事者など、みなそれぞれ果たすべき役割があること。

【5】各々の力を活かして取り組む『協働』のあり方は平常時、緊急時、どちらであっても活用されること。

このほかにも災害を身近なものとして捉える必要性や、被災者がペットと共に避難する意味、災害ボランティアセンター運営についての考え方、設置にあたって大切にすべきことなど、多くのことを学びました。

季節がめぐり、早くも次の1年が始まろうとしています。思い起こせば、色々な場所で様々な人たちに支えられた1年でした。この連載もその1つです。「はこまち見たよ!」みなさんのあたたかい言葉があったからこそ、楽しみながら書き続けられました。これまでのご愛読に感謝申し上げます。

茅森の【まちセン萌えスポット】 旧丸井今井時代から動き続けるエレベーター

このコーナーのラストを飾るのは、昭和9年に設置された『手動式エレベーター』です。この子について語りだしたらもう止まらない?!一瞬でもエレベーターに興味を持ったそこのアナタ、かやもりがみなさまをご案内いたします。かやもりが不在の場合は「この人の持ちネタを聞きたい!」あなたがビビッと感じたスタッフにお声がけください。案内や説明はスタッフごとに異なり、それぞれに特徴があるんです。

これからもまちセンはスタッフ全員で「上へまいりま〜す!」



かやもり しょうき
茅森 昇起

海の日生まれ26歳。
福祉の仕事から2018年4月より
まちセンスタッフに。
特技はイラスト、
消しゴムはんこ製作など。



※次号より、スタッフ谷口にバトンタッチします。

1F 喫茶コーナー cafe DripDrop

- 営業時間／10:00～18:00 ●定休日／水曜日・施設休館日
- 自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで一息つきませんか?
お店のSNSで最新情報を発信していますので、
お得な情報をゲットしてみてください。

☞【オススメ】ブレンドコーヒー 330円

1F 福祉の店 どんぐり 2号店

- 営業時間／10:00～16:00 ●定休日／土日祝日・施設休館日
- 授産製品を扱っています。函館みやげにオススメの
クッキーをはじめ、布バッグや布ぞうりなどの
ハンドメイド雑貨も豊富です。

☞【オススメ】土偶クッキー 680円





移住サポートセンターからのお知らせ

まちづくりセンター内の『移住サポートセンター』は、函館市の相談窓口（ワンストップ窓口）として、函館市への移住を検討している方の相談や問い合わせなどに対応しています。

みなさんが函館に移り住んだ後も、快適な暮らしが送れるようサポートしております。まずは、月に一度開いている『まちセン茶論^{サロン}』を、地域に参加するきっかけの場としてご利用ください。お待ちしております（P8でもお伝えしています）。

移住サポートセンター

（函館市地域交流まちづくりセンター内）

TEL 0138-22-9700（9:00～21:00）

<http://hakomachi.com/iju-support/>



【移住サポートセンターの主な取り組み】

- 移住希望者からの問い合わせに対応
- 定住者への支援
- 『函館暮らしが이드』の発行・配布
- メールマガジンでの情報発信（HPより登録できます）
- 『まちセン茶論（サロン）』の開催
（毎月第二火曜13:30～、都合により変更となる場合もありますのでお問合せください）

《こちらもご利用ください》

【道南圏以外にお住まいで、函館で仕事を探している方】

函館しごとネット 函館市経済部雇用労政課

TEL 0138-21-3309（平日8:45～17:30）

<http://hakodate-job.net/>（HPより求職者登録できます）

【首都圏にお住まいの方への相談窓口】

どさんご交流テラス（ふるさと回帰支援センター内）

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8F

TEL 03-6273-4401（代表）

10:00～18:00（月曜・祝日休 夏期・冬期休業あり）

<http://www.furusatokaiki.net/consultation/hokkaido/>

配布先・問い合わせ先

『はこまち通信クーポラ』2019年4月 vol.48

次号は6月30日発行予定です（年4回）

発行／函館市地域交流まちづくりセンター

住所／〒040-0053 北海道函館市末広町4-19

TEL／0138-22-9700

FAX／0138-22-9800

開館／9:00～21:00

休館日／12月31日～1月3日

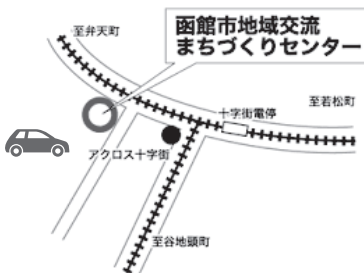
<http://hakomachi.com>



このほか器材点検のため月1回程度、臨時休館する場合があります。詳しくはセンター内やWebでお知らせしています。

建物裏手に駐車場あり。
2時間まで無料。

指定管理者／
NPOサポートはこだてグループ
（2007年4月～）



『はこまち通信クーポラ』編集室だより

前号よりはこまち通信が生まれかわりました。いかがですか？まちづくりセンターの活動やイベント、函館の現在が伝わるよう、誌面づくりから考えていきます。誰にでも愛されるユニバーサルデザインを目指しています。（編集長／谷口真貴）

●主な配布先（敬称略）

函館市役所1F／亀田支所／湯川支所／銭亀沢支所／戸井支所／恵山支所／楳法華支所／南茅部支所／函館市中央図書館／渡島総合振興局／函館市企業局アクロス十字街／総合保健センター／函館アリーナ／函館市女性センター／函館市青年センター／函館市公民館／函館コミュニティプラザGスクエア／函館市青少年研修センターふるる函館／中島れんばいふれあいセンター／函館市総合福祉センターあいよる21／函館市勤労者総合福祉センターサンリフレ函館／はこだて子どもセンター／どさんご交流テラス（東京 有楽町）
取材に協力くださったみなさま、施設等

『はこまち通信クーポラ』に関するご意見、ご感想をお寄せください。ご住所、お名前、お電話番号を明記の上、メール info@hakomachi.com まで



Hakodate Community



Design Center vol.48 2019年4月

スタッフより一言／まちセンは館内撮影OKです。フォトブースを新設しましたので、どうぞご利用ください（大矢）



センター長 丸藤の「今 伝えたいこと」

2月の上旬という1年で最も日本海側が荒れる時期に、留萌市に行ってきました。留萌管内でまちづくり活動をしているキーパーソン30名程が集まり“ここに住み続けたいくなるようなまちづくりをしていくために、何ができるか”を話し合いました。私はその進行役だったのですが、留萌管内でこれだけのメンバーが一堂に会したのは初めてだったそうです。

まちづくりは時間がかかります。留萌でも、様々な活動が行われていてもなかなか形になっていかないという悩みを多く聞きました。ただ一方で、井戸に例え「あとちょっとで水が噴き出してくる感触がある。もうしみだしてきている」という言葉も多く聞きました。「井戸は、水が湧き出すまで掘り続けなければ意味がない」を合言葉に明るく活動をしている姿は、とても感銘を受けました。

その留萌には、実はもう形になった活動があります。平成22年12月、留萌市内から書

店が無くなってしまったことをきっかけに地元の主婦ら6人が立ち上がり様々な誘致活動を行った結果、翌年、留萌ブックセンターby三省堂書店が開店。現在も「三省堂書店を応援し隊」として活躍、まちの規模から想定する以上の売り上げを維持し続ける原動力となっています。代表の武良さんによると、ネットでは得られない「人」を感じさせることができるからとのこと。

「隣町増毛の日本酒、国産が美味しいよ」というお誘いで行くことになった留萌でしたが、素晴らしい皆さんとの出会いにあふれた3日間になりました。



留萌のコミュニティFM『エフエムもえる』に急ぎ出演。

【SDGs (エスディーゼズ) って何だろう?】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



SDGsとは2030年に向けて世界が合意した『持続可能な開発目標』です。詳しくは『はこまち通信クーポラ』vol.47の特集記事をご覧ください。

丸藤 競 ラジオ情報

80.7MHz

函館のコミュニティラジオFMいるか

『週刊まち日和』

パーソナリティ

毎週土曜 12:30~13:00

(インターネットでも聴取可)



Hakodate Community



Design Center vol.48 2019年4月

スタッフより一言／まちセンは『防災・減災』をテーマに、地域のみなさんと連携を深めてまいります(澤田石)



まちセンインフォメーション

2/12
(火)

サロン
まちセン茶論

毎月第2火曜日

移住者の交流の場として開いています。この時季の話題と言えばやはり『冬の過ごし方』。初参加の方も加わり



賑やかでした。P6でも詳しくお伝えしています。※次回は4/9(火)です。

3/2
(土)

突然死ゼロを目指して 救命講習会

月に1度、AEDの使い方などの救命処置を学ぶ無料の講習会です。再受講希望者も受け付けていま

す。この日は夫婦・親子での参加がありました。

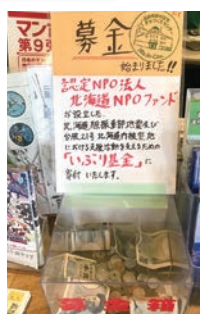
次回は4/10(水)です。「いざ」という時のために覚えておきたいですね。



2018
9/8(土)
より

いぶり基金への送金(継続中)

北海道胆振東部地震の復興を支援する募金箱を設置し、みなさまから寄せられた思いを届けております。



これまでに
64,804円(10/1)
46,450円(12/28)
合計111,254円を

いぶり基金『北海道NPOファンド』宛に送金しました。

シーニックdeナイト2019

2/9
(土)

2008年より続いているキャンドルイベントに参加しております。この日は風も穏やかで、アマチュアカメラマンや観光客の方、地域の方などが、幻想的な風景を楽しんでいらっしゃいました。



4/20
(土)
スタート
新企画

『市民救命員』として活動しませんか？

昨年9月に発生した北海道胆振東部地震。“災害は必ずやってくる”といわれ、日頃から災害に向けた準備や心構えなどが必要です。地域住民が公助を受けるまでには各自の自助やお互いに助け合う共助が不可欠です。

非常時や災害時に対応できる応急手当・救命処置に関して、高度な知識と技能を兼ね備えた「市民救命員」を養成します。

日時 4月20日(土)・5月18日(土)・6月15日(土)・7月20日(土)

10時～17時 定員各回10名

問合せ/080-6093-6968

(救命のリレー普及会 田中さんまで)

※詳細は2/18のブログをご覧ください▶



Hakodate Community



Design Center vol.48 2019年4月

スタッフより一言/イベントポスターの掲示やチラシ配布を希望の方は、お気軽にご相談ください(水戸部)